はじめてお使いになる方へ

VQC5512

かんたんガイド

1 バッテリー／カードを入れよう

扉の開閉

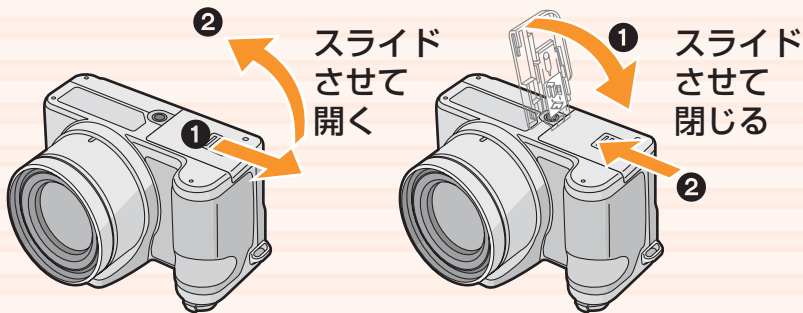
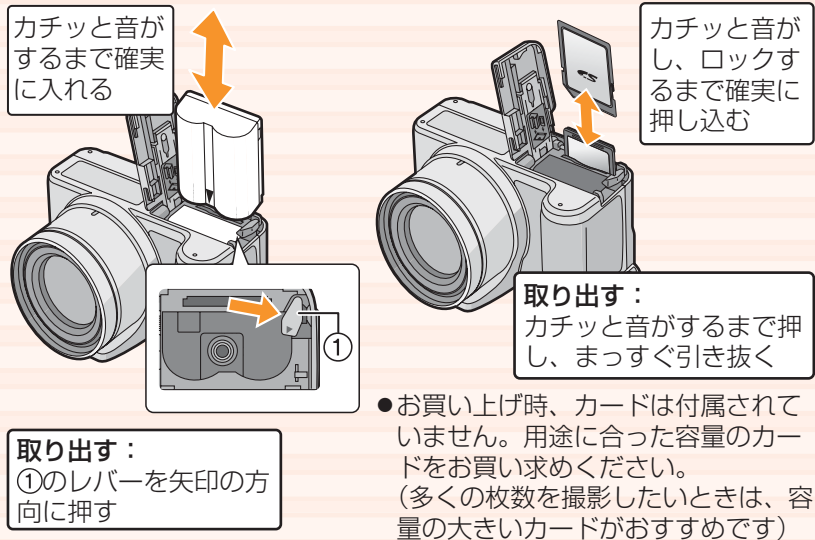
以下のことをご確認ください
- 電源が[OFF]になっている
- フラッシュが閉じている

バッテリーを入れる

取り出す：
①のレバーを矢印の方向に押す

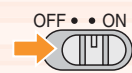
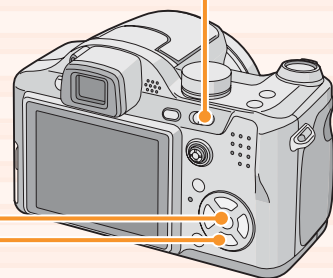
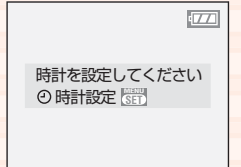
カード(別売)を入れる

取り出す：
カチッと音がするまで押し、まっすぐ引き抜く

- お買い上げ時、カードは付属されていません。用途に合った容量のカードをお買い求めください。
（多くの枚数を撮影したいときは、容量の大きいカードがおすすめです）

2 電源を入れて時計を設定しよう

はじめに時計を設定しておくと、
- 日付を入れてプリントするときに困らない！
- パソコンに取り込んだときに日付別に整理できる！

電源を入れる

OFF • • ON 電源スイッチを[ON]にする

時計を設定してください
時計設定 MENU SET

お願い
- 約5秒経過すると画面が消えますので、電源を入れ直してください。
- 一度設定すると、この画面は表示されません。
ただしバッテリーを入れずに約3カ月経過すると時計設定が消えるため、再びこの画面が表示されます。

時計を設定する

1 [MENU/SET] ボタンを押して時計設定の画面を表示させる

2 ◀▶で項目を選択
▲▼で数字を設定

時計設定
2006 1 1 0 :00
年/月/日
選択◀▶ 設定⬍ 終了 MENU SET

3 [MENU/SET] ボタンを数回押して終了

3 撮影しよう

♥ かんたんモードで撮る

初心者におすすめのモードです。

1 モードダイヤルを回して
♥ に合わせる

ここに合わせる

2 シャッターボタンを
半押し(軽く押す)してピントを合わせる

ピントが合うとフォーカス表示(緑)が点灯します

AFエリア
ピントを合わせたい被写体をここに合わせます

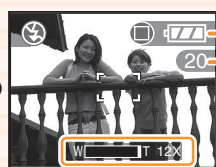
3 シャッターボタンを
全押し(さらに押し込む)して撮影する

ズームを使って撮る

光学ズームで最大12倍まで大きく撮ることができます。

1 ズームレバーを
T側に回して
大きく(望遠)撮る

バッテリー残量
残り枚数

2 ズームレバーを
W側に回して
広く(広角)撮る

4 撮った画像を見よう

撮った画像を見る

1 モードダイヤルを回して
♥ から
▶ に合わせる

ここに合わせる

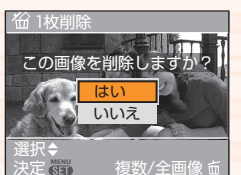
2 ◀ で前の画像を選択
▶ で次の画像を選択

不要な画像を削除する

元に戻すことはできませんのでお気を付けください

1 🗑(削除)ボタンを押す

2 ▲で「はい」を選択

3 [MENU/SET] ボタンで決定

逆光を補正して撮る

逆光時に、人物など被写体が暗く写るのを補正します。

▲で (逆光補正オン表示)を表示させる
もう一度押すと解除されます。

逆光補正機能使用時はフラッシュを使用することをおすすめします。(フラッシュを使用する時は、強制発光[⚡]になります

逆光補正オン表示

❤かんたんモードのメニュー設定

1 [MENU/SET] ボタンを押す

2 ▲▼で項目を選び、▶を押す

3 ▲▼で設定内容を選び、[MENU/SET] ボタンで決定

4 [MENU/SET] ボタンを押して終了（メニュー画面を終了します）

用途に合わせて設定できるからはじめてでもかんたん

画質設定

- 引き伸ばし： A3やA4などの大きめサイズにプリントしたい
- Lサイズ(3：2)：Lサイズ（89 mm×127 mm）にプリントしたい
- Eメール： Eメールに添付したり、ホームページ用に使いたい

オートレビュー

- OFF: 撮影後に撮影画像が自動的に表示されません
- ON: 撮影後に撮影画像が約1秒間表示されます

操作音

静かな場所では[OFF]に

- OFF：操作音なし
- 小： 操作音小
- 大： 操作音大

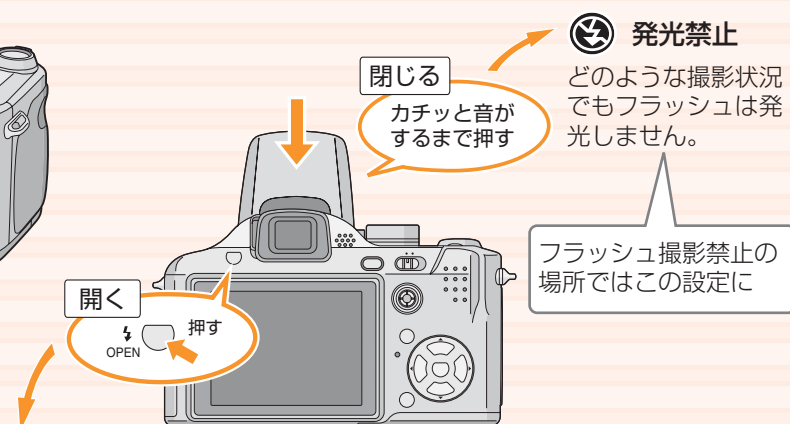
時計設定

日付や時刻を変更するときに設定します。
上記の手順**2**で選ぶと、時計設定の画面になります

◀▶で項目を選択
▲▼で数字を設定

[MENU/SET]ボタンを数回押して終了

フラッシュを使って撮る

暗い場所で撮影するときはフラッシュが便利です。
フラッシュを開くだけでフラッシュが使えます。

発光禁止
どのような撮影状況でもフラッシュは発光しません。

フラッシュ撮影禁止の場所ではこの設定に

逆光補正オフのとき

赤目軽減オート

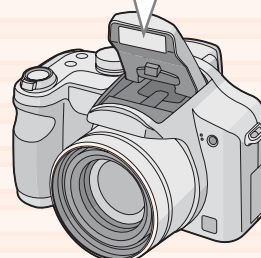
撮影する場所の明るさに応じて、自動的にフラッシュが発光します。
瞳が赤く写る（赤目現象）のをおさえます。

暗い場所で人物を撮影するときなどに適しています

お願い
赤目軽減モードに設定すると、フラッシュが予備発光し、そのあと撮影のために再び発光します。２回目の発光が終わるまで動かないようにしてください。

逆光補正オンのとき

強制発光
フラッシュを強制的に発光させます。

フラッシュ発光部
指などでふさがないようにしてください

撮った画像をプリントして残す

以下の方法で撮影した画像に日付を入れてプリントすることができます。

プリンターだけで

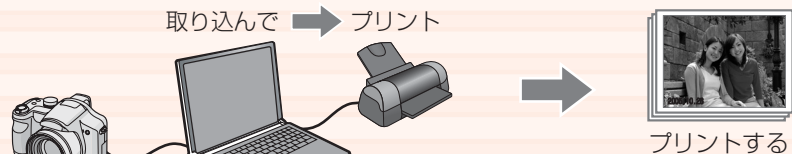
詳しくはプリンターの説明書をお読みください。

USB接続ケーブルでつないでもOK
SDカードスロットに入れてもOK

プリントする

パソコンとプリンターで

取り込んで ➡ プリント

プリントする

CD-ROMに付属のソフト「LUMIX（ルミックス） Simple Viewer（シンプルビューワー）」を使うと、かんたんにパソコンに取り込んでプリントできます。詳しくはパソコン接続編の取扱説明書をお読みください。

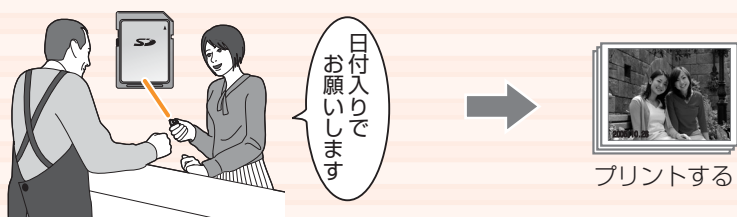
パソコンを使うと他にもいろいろ楽しめる！

CD-Rに保存する

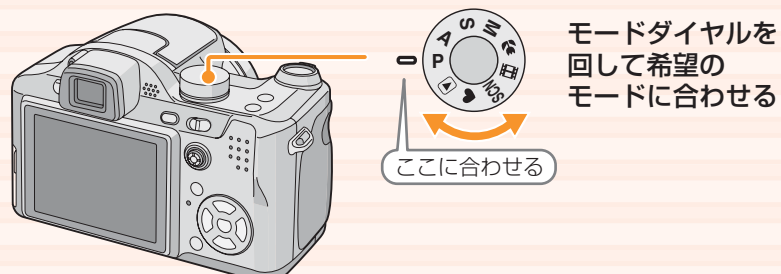
Eメールに添付する

パソコンの説明書をお読みください

お店プリントで

プリントする

いろいろ選べるモードダイヤル

かんたんモード以外の撮影モードを選ぶと、メニューやフラッシュの設定も様々になります。

モードダイヤルを回して希望のモードに合わせる

S シャッター優先AEモード
設定したシャッタースピードから絞り値が自動的に決まり撮影できます

M マニュアル露出モード
絞り値とシャッタースピードを手動で設定して露出を決定します

A 絞り優先AEモード
設定した絞り値からシャッタースピードが自動的に決まり撮影できます

マクロモード
被写体をアップにして撮影できます

動画撮影モード
音声付き動画を撮影できます

P プログラムAEモード
露出をカメラにまかせて撮影します

SCN シーンモード
撮影シーンに合わせて撮影できます

再生モード
撮影した画像を再生します

かんたんモード
初心者におすすめのモードです